

## Ⅱ. 本市における物流の現状（本市のポテンシャル）

- これまでの取組みの結果、物流を下支えする陸・海・空の物流インフラの整備は進んでいる。
- 物流活性化のため、利用促進を図り、更なる機能強化に向けた取組みが必要である。



## Ⅱ. 本市における物流の現状（物流業界のニーズ）

### 関係者へのヒアリング状況（令和3年10月末時点）

物流業界のニーズを把握するため、地元企業を中心にヒアリングを実施。ヒアリングは今後も継続する。  
○物流関係事業者等（物流事業者、荷主企業、開発事業者等）：81社、官公庁：4機関、有識者：3名

課題	物流業界からの主な意見
労働力不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間規制により、九州の端から端までのトラック輸送は今後厳しくなると思う。[物流事業者]</li> <li>・太刀浦CTで、ピーク時にはコンテナ待ち時間が発生し、ドライバーの労働時間増の要因となっている。[物流事業者]</li> <li>・物流施設（マルチテナント）が出来た場合には、人材の確保が必要である。[物流業界団体]</li> <li>・女性やシニアなど多様な人材が働きやすい職場環境の整備が必要である。[倉庫事業者、荷主]</li> </ul>
効率的な集荷・配送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西・関東方面への荷物が少ない。物流施設が集積している鳥栖市への配送後の帰りの荷物も少ない。[物流事業者]</li> <li>・横須賀の新航路は所要時間も短く、九州中から集荷してフェリー輸送できると良い。[有識者]</li> <li>・農産物のパレット化の促進が必要である。[物流事業者]</li> <li>・パレットが不足している。また、パレットが循環するシステムが構築されていない。[荷主]</li> <li>・小倉都心部に宅配荷物の共同の集配デポがあると良い。[物流事業者]</li> <li>・コンテナ等の利活用を促進するための異業種マッチング支援が必要である。[荷主]</li> </ul>
脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新造船の就航が重なっている新門司はモーダルシフトの受け皿となる。[有識者]</li> <li>・トラックの積載効率を向上させることで、トラックの使用台数を減らすことが必要。[荷主]</li> </ul>
物流機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流道路（関門断面）のリダンダンシーの確保が必要。[物流事業者]</li> <li>・北九州港（太刀浦CT、ひびきCT、新門司FTの強化等）、北九州空港の機能強化（上屋の早期整備、人材確保、通関機能の強化等）が必要。[物流事業者、荷主]</li> <li>・新門司周辺のほか、産業道路の計画的な維持管理が必要。[物流業界団体]</li> <li>・倉庫需要に対し、供給用地が不足している感がある。[不動産事業者]</li> <li>・産業の集積・高度化という市の特徴に合った物流施策が必要である。[有識者]</li> </ul>

## Ⅱ. 本市における物流の現状（物流業界の課題）

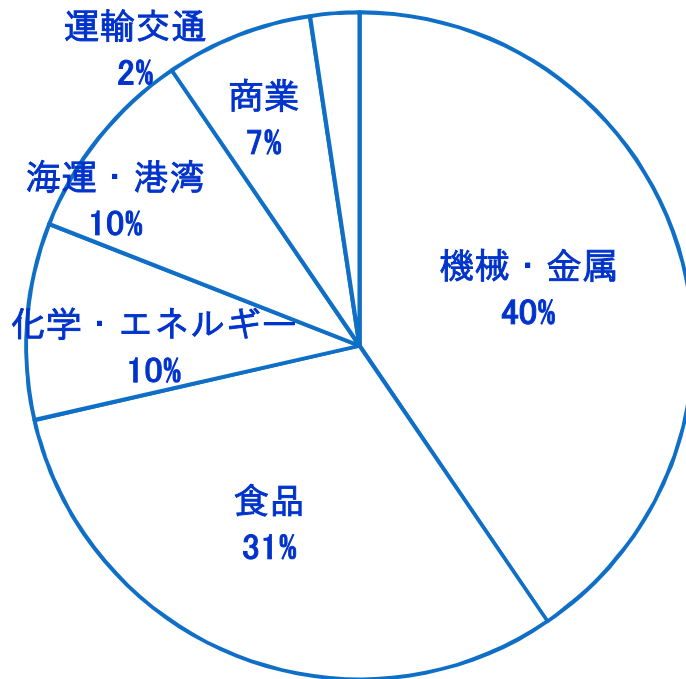
### 1 アンケート調査の実施状況

対象事業者：市内に事業所がある物流事業者・荷主企業 計178社  
実施方法：商工会議所を通じてアンケート調査票を配布

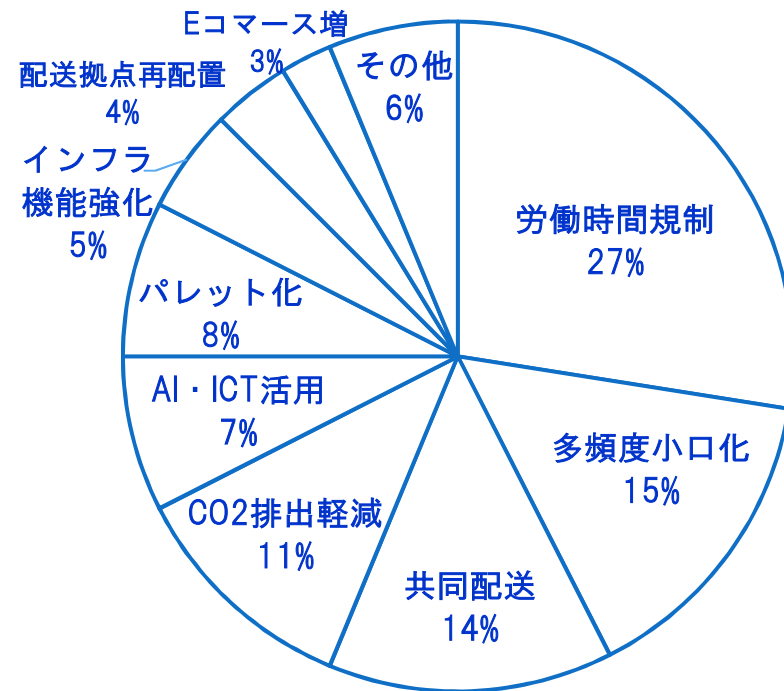
### 2 アンケート調査の回答状況

#### (1) 回答企業の属性

2021.6.28時点 有効回答数42社



#### (2) 市内企業の考える物流の課題



「その他」：自然災害の甚大化、ドライバーの採用、危険物輸送規制緩和など